

V 水稲の病害虫防除

—— 発病・加害時期
 == 発病・加害最盛期

作型・病害虫名	月											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平 坦 部 移 植 (中 生 : ヒ ノ ヒ カ リ)					●	▲	—	○	■			
中 山 間 部 移 植 (極 早 生 : キ ヌ ヒ カ リ)				●	▲	—	○	■				
い も ち 病 稲 こ う じ 病 ご ま 葉 枯 病 小 粒 菌 核 病 白 葉 枯 病 内 穎 褐 変 病 も み 枯 細 菌 病 紋 枯 縮 病 萎 縮 病 縞 葉 枯 病 斑 点 米 カ メ ム シ 類 イ ネ ク ロ カ メ ム シ セ ジ ロ ウ ン カ ト ビ イ ロ ウ ン カ ヒ メ ト ビ ウ ン カ ツ マ グ ロ ヨ コ バ イ コ ブ ノ メ イ ガ ニカメイチュウ(ニカメイガ) イネツトムシ(イチモンジセセリ) フタオビコヤガ(イネアオムシ) イネミズゾウムシ イネドロオイムシ イ ナ ゴ 類 スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)												

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 粒剤施用後は7日間、落水やかけ流しを行わないこと。

注3: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

水稲の種子消毒

1 種子消毒薬剤の使用法

農薬名	RACコード	希釈倍数	浸漬時間	ばか苗病	いもち病	ごま葉枯病	もみ枯細菌病	苗立枯細菌病	イネセンチュウガレ	苗立枯病			
										トリコデルマ	リゾープス	ピシウム	フザリウム
テクリードC フロアブル	3 M1	(高濃度)20倍	10分	○	○	○	○	○		○	○		
		200倍	24時間	○	○	○	○	○		○	○		
ベンレート水和剤 注(3)	1	(高濃度)30倍	10分						○				
		(高濃度)30～50倍	10分	○	○								
		100～500倍	24時間						○				
		500～1000倍	6～24時間	○									
		500～1000倍	12～24時間		○								
エコホープDJ 注(4)	BM2	200倍	催芽時：24時間	○	○		○	○				○	
			浸種前～催芽前：24～48時間	○	○		○	○					○
スミチオン乳剤	1B	1000倍	は種前：6～72時間						○				
パダンSG水溶剤 劇	14	1500～3000倍	浸種前：24時間						○				

(注)

- (1) ばか苗病等の発生の多いところでは、高濃度短時間浸漬の方法で処理する。
- (2) 薬液の温度は10℃以下や30℃以上を避ける。
- (3) ベンレート水和剤は、浸漬処理後風乾すること。
- (4) エコホープDJは生物農薬で耐性菌出現のリスクが低いが、ベンレート水和剤等、併用できない薬剤があるので注意する(効果)。また処理後は風乾せず、直ちに浸種あるいは催芽させる。
- (5) スミチオン乳剤、パダンSG水溶剤は、いずれかをイネセンチュウ消毒剤として、同虫に登録の無い殺菌剤の浸漬処理時に混和して使用する。

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 粒剤施用後は7日間、落水やかけ流しを行わないこと。

注3: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

2 種子消毒・水稲は種の手順

塩水選

(水10L当たり)

水洗い

◎塩水選における比重と食塩または硫酸の量目安

種類	比重	食塩	硫酸
うるち	1.08 (1.13)	1.1kg (2.0kg)	1.4kg (2.5kg)
もち	1.06 (1.08)	0.8kg (1.1kg)	1.0kg (1.4kg)

袋詰め

※()内は、より強く選別をする場合の目安

- ・サラン等の網袋に5分目程度入れる。
- ・容量に余裕をもたせて縛る。

種子消毒

化学農薬による消毒
(種子消毒) 参照

温湯消毒 (60℃、10分間)
 ・処理中の温度を一定に保つように湯量に注意する。
 ・処理後は直ちに流水中で冷却する。
 ・温度ムラが出ないように、時々網を揺する。

生物農薬による防除
(種子消毒) 参照

- ・水洗いはしない。

風乾

12~24時間陰干しする。

- ・風乾により種子に薬剤をしっかり附着させると効果が高まる。
- ・風乾する必要のない薬剤もある。(テクリードCフロアブルなど)

浸種と催芽

- ・浸種は、必ず停滞水中で行う。流水では薬効が落ちる恐れがある。水が汚れた場合は静かに水を入れ替える。

水温	浸種時間
15℃	5~6日間
20℃	4~5日間

は種

- ・芽が1mm程度になれば日陰で風乾してからは種する。芽が伸びすぎると、は種時に折れてしまう可能性があるので注意する。

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 粒剤施用後は7日間、落水やかけ流しを行わないこと。

注3: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

主な水稲箱施用剤適用病害虫一覧表（主な使用法のみ抜粋）

- 1 下記の使用法以外の使用方法もあるので詳しくは各剤のHPを参照すること。
- 2 薬剤によっては、適用のない病害虫もあるので下表を参照する。
- 3 SDHI剤（7等）は耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。
- 4 他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理する。

農薬名	成分数	RACコード		育苗箱1箱当たり使用量(g/箱)	使用時期	適用病害						適用害虫												
		殺虫IRAC	殺菌FRAC			いもち病	紋枯病	白葉枯病	もみ枯細菌病	内穎褐変病	穂枯れ(こま葉枯病菌)	ウンカ類	ツマングロヨコバイ	(ニカカメイチガウ)	コブノメイガ	(イチネモンジセリ)	イネミズウムシ	イネドロオウムシ	イナゴ類	(フタオビオムシ)				
																					適用	適用	適用	適用
リディアNT箱粒剤	1	4F		50	は種前(床土混和)																			
					は種時(覆土前)~移植当日																			
					移植3日前~移植当日																			
ブーンアレス箱粒剤	2	37	P8	50	は種前(床土または覆土混和)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
					は種時(覆土前)~移植当日	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スタウトアレス箱粒剤 稲名人箱粒剤	2	37	P3	50	は種前(床土または覆土混和)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
					は種時(覆土前)~移植当日	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ビームプリンス粒剤	2	2B	16.1	50	移植3日前~移植当日	○																		
フェルテラゼクサロン箱粒剤	2	28 4E		50	は種時(覆土前)~移植当日																			
サンスパイク箱粒剤	3	28 4E	16.3	50	移植3日前~移植当日	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
ブイゲットフェルテラゼクサロンL粒剤	3	28 4E	P3	50	緑化期~移植当日	○		○	○															
					移植3日前~移植当日																			
サンフェスタ箱粒剤	3	28 4A	16.3	50	移植3日前~移植当日	○		○	○	○														
防入箱粒剤	3	28 4E	P3	50	は種時(覆土前)~移植当日	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
稲大将箱粒剤	3	37	P3 7	50	は種時(覆土前)~移植当日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
ビームパラタス箱粒剤	3	5 4E	16.1	50	移植3日前~移植当日	○																		
					移植当日																			
フルスロットル箱粒剤	4	28 4E	P3 7	50	は種時(覆土前)~移植当日	○	○	○	○													○		
					移植当日																			

適用病害虫について：○…適用あり

※使用量は30×60×3cmの育苗箱で床土+覆土約5L、10aあたり20箱移植を前提としている。高密度には種して10aあたりの育苗箱数を少なくする場合は別途メーカーの指示に従うこと。

リディアNTは同成分のリディアに比べて散布時期幅が広い。

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 粒剤施用後は7日間、落水やかけ流しを行わないこと。

注3: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。